



(文化財愛護シンボルマーク)

文化財愛護シンボルマーク

このシンボルマークは、ひろげた両方の手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗^{ヒラ}（組みもの）のイメージを表わし、これを三つ重ねることにより、文化財という民族の遺産を過去、現在、未来にわたり永遠に伝承していくという愛護精神を象徴したものです。

国見町発掘調査速報（第3号）2005.03

多比良地区圃場整備関連

じゅうぞのいせき はっくつちょうさ 十園遺跡の発掘調査 2



十園遺跡で見つかった大型建物（掘り込まれた穴の列が建物の柱部分）

2004年～2005年の調査成果

長崎県国見町教育委員会

★★★ 発刊に当たって ★★★

○本冊子は国見町多比良所在の十園遺跡発掘調査に関する簡易な解説を目的としています。

○内容は多比良地区町営圃場整備事業に伴い平成14・15年度に行った発掘調査の成果です。

○本冊子に関する問い合わせは国見町教育委員会までお願いします。

じゅうぞの いせき はっくつ りゆう 十園遺跡発掘の理由

★国見町には百花台遺跡や高下古墳などたくさんの遺跡があります。「遺跡」とは、私達の祖先が暮らしていた当時の、住居跡や生活用具（土器や石器）及びお墓などが発見される場所、すなわち「私達の祖先が暮らした痕跡が残されている場所」のことです。この「遺跡」から発見された「土器・石器・住居跡・お墓」などは、私達の祖先の歴史そのもので、ひいては現在生きている私たちの歴史でもあります。発掘調査を行うと私達がどのような歴史をたどって現代まで生き抜いてきたかがわかります。このような「遺跡」は大切な歴史遺産であり、私達みんなの財産といえるでしょう。国見町では「遺跡」が存在する場所で、しばしば開発工事が行われます。今回の十園遺跡の調査は、圃場整備事業の工事によって遺跡の一部が消滅してしまったために、その部分の調査を行って、私達の財産である「遺跡」の内容を記録するため、土器や石器などを発掘しました。したがって、工事を行っても遺跡が消滅しない部分については、現地にそのまま遺跡が残ることになります。発掘調査を行った部分は遺跡全体の数%であり、まだまだたくさんの祖先の歴史が地中に保存されているのです。

発掘調査の基本

★右の写真は、遺跡の土層断面です。色の違う土が何枚も重なっているのが判ります。土の色は、土が堆積した時代によって異なり、発掘はこの色の違う土層ごとに調査を行います。この土層は、下のものほど古く、上の土層になるにつれ新しくなる特徴があります。したがって、各土層に含まれる土器・石器・住居跡の時代の新旧関係も、土層の重なりを見れば一目瞭然というわけです。



★左の写真は、建物の柱を調査中の様子です。現在の「家」は地面の上に基礎を作りその上に柱が建てられていますが、昔の建物の多くは地面に穴を掘り、その穴に柱を差し込んで建てられていました。調査では柱そのものはなかなか発見されません。長い年月で朽ち果て「土」になってしまふからです。写真の中の矢印で示した部分が「柱」、その周りの土は柱が倒れないよう支えるために穴に入れ込まれたものです。

これまでの発見

はっけん

紀元前10,000年 紀元前300年 250年 710年 1,192年 1,600年

旧石器

縄文

弥生

古墳

奈良・平安

中世

近世

★十園遺跡は国見町多比良馬場、土黒川沿いの水田地帯に広がる遺跡です。これまでの調査において数多くの発見がありました。

(旧石器時代)

★遺跡からの出土品で最も古いものは、約2万年前と考えられる旧石器時代の石器です。右の写真は旧石器人が狩りに使った「やり先」です。石製でしかも遠く佐賀県周辺でしか採取できない石材が使われています。はるか数十キロ離れた場所まで石器の材料を探しにいったのでしょうか？ それとも物々交換などで手に入れたのでしょうか？ いずれにしても当時の人々の生活を解き明かす上で欠かせない発見です。



(縄文時代)

★壱岐「原の辻遺跡」や佐賀「吉野ヶ里遺跡」と同じ時代の、「環濠集落」と呼ばれる大規模な遺跡が発見されています。巨大な竪穴住居や2重に掘られた堀（環濠）などから大量の土器が出土しています。その中には海を越えて遠く福岡や佐賀、熊本から運ばれたと考えられる土器も多く見つかっています。佐賀の吉野ヶ里遺跡とも交流があったのかも知れませんね。



★これらの発見から、活発な国見町の祖先の暮らし振りを垣間見ることができますね★

はっけん 発見された郡衙

ぐん が

紀元前10,000年 紀元前300年 250年 710年 1,192年 1,600年

旧石器

縄文

弥生

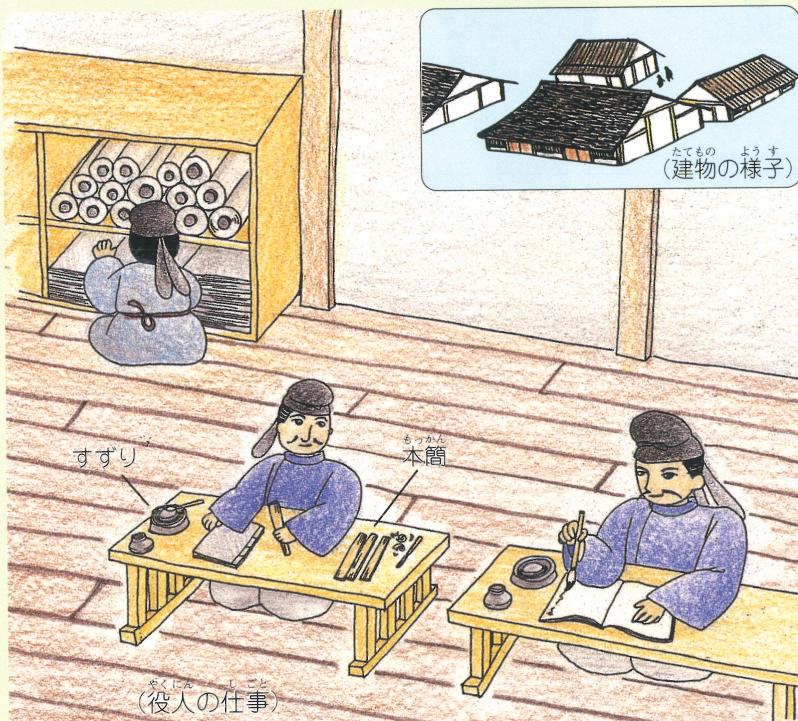
古墳

奈良・平安

中世

近世

★今回の報告は約1,200年前の奈良時代の建物群や土器です。当時の日本は平城京や平安京などの「奈良の都」を中心とした国家で、地方は国・郡・里などの地区に区分されていました。今でいえば国=県、郡・里=市町村といったところでしょうか。当時の国見町は肥前国高来郡の範囲内に入ります。肥前国は、おおむね現在の佐賀県・長崎県を合わせた範囲で高来郡は諫早市及び島原半島を含めた範囲です。肥前国は9つの郡に分かれていましたが、現在の長崎県には松浦郡・彼杵郡そして高来郡の3郡があり、各郡には政治や文化、産業の中心となる「郡衙」と呼ばれる大規模な施設がありました。郡衙はその郡内でもっとも発展した地域と考えられます。

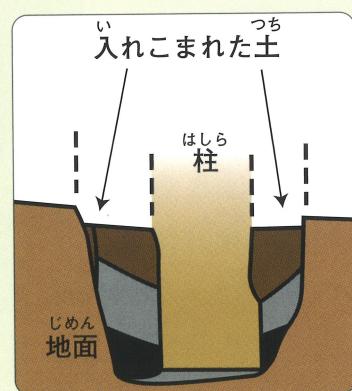
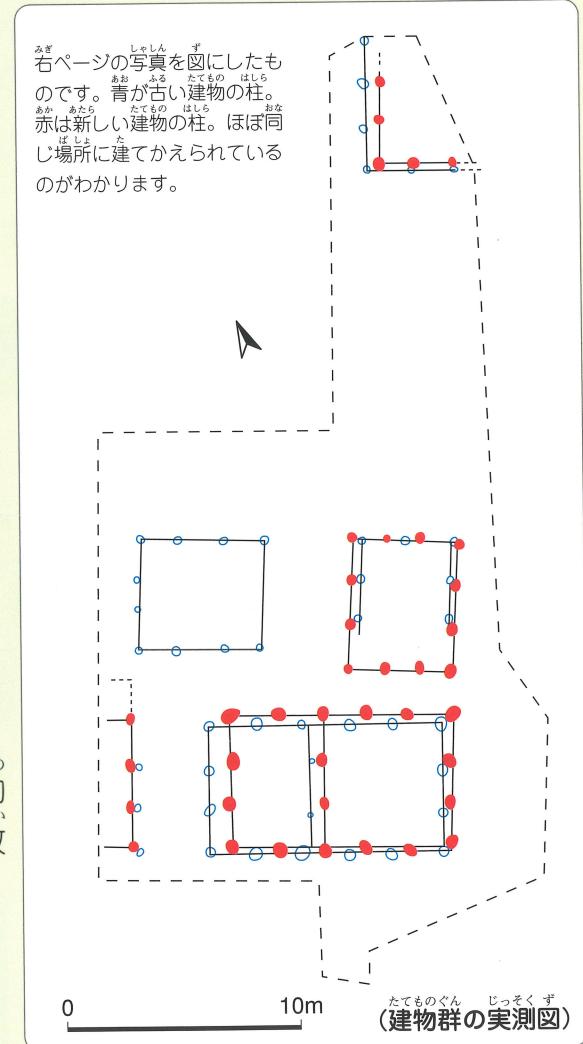


★調査結果やこれまでの研究成果を参考に郡衙の建物を復元してみました。郡衙とは今で言う「役所」。行政事務や司法、税の徴収などを行っていました。

まめ ちしき (豆知識) 当時の税金

現在はお金で税金を納めますが、当時は米や布など地域の産物が主な納税物。そのほかにも、地方の公共工事で働いたり、兵士として働くことも住民に義務付けられていました。今と比べると厳しい負担が求められていたようです。風水害で収穫が少ないと、住民は粟や稗で飢えをしのいでいたという記録も残っています。華やかな「奈良の都」の影で、地方では厳しい生活ぶりも見ることができます。

右ページの写真を図にしたものです。青が古い建物の柱。赤は新しい建物の柱。ほぼ同じ場所に建てかえられているのがわかります。



参考文献 大塚初重・石井進総監修2003.4
「21世紀こども百科 歴史館」増補版

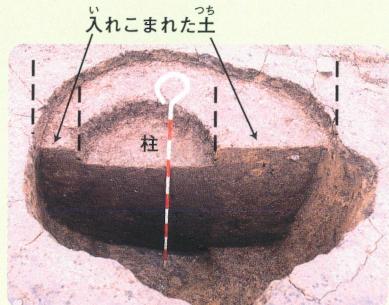
★左の図面は建物をささえる柱の断面図です。調査の結果柱の直径は約30cm！ みなさんの家の柱の大きさは？

★遺跡では規則正しく並んだ大きな建物跡や建物を取り巻くような水路、そして大量の土器が発見されました。これまで県内では発見されたことのない大規模な奈良時代の遺跡が発見されたのです。建物の大きさやその配置、また、出土品の量やその種類から一般の集落とは大きく様相が違います。さらには、周囲の遺跡にも、郡寺と考えられる五万長者遺跡、多くの文字資料が発見された石原遺跡があり、今回発見された建物群が肥前国高来郡郡衙の一部だと推測されました。近年の研究では、郡衙は1キロ四方を超える範囲にさまざまな機能を持った施設があった事が判明しています。最終ページの色を塗った遺跡は「郡衙に関係する遺物」が発見された遺跡です。広い範囲で発見されており、十園遺跡を中心に各地に郡衙に付属する建物があったと考えられます。

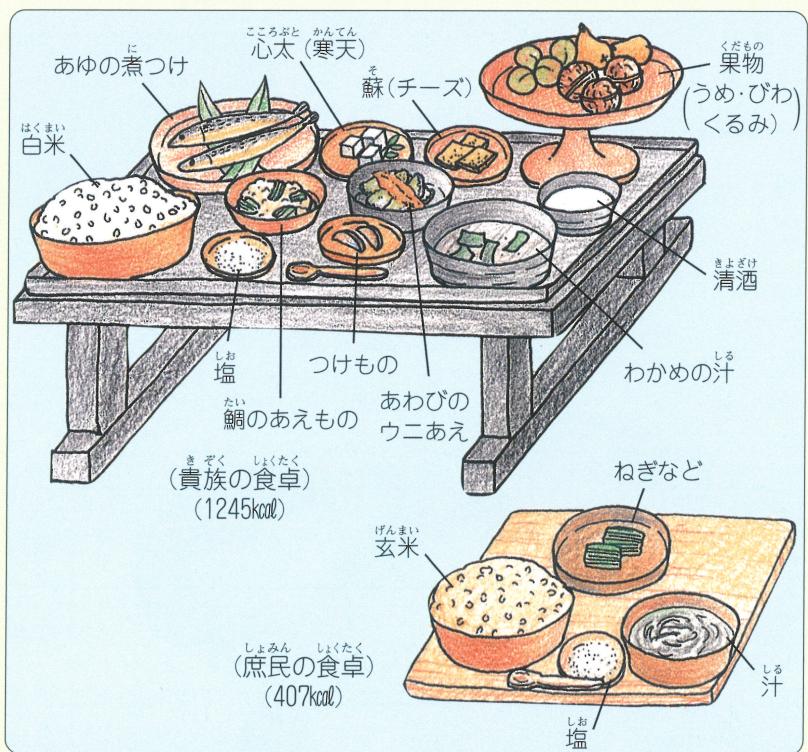


(建物群の空中写真)

★右の写真は発見された柱の断面写真です。中央の黒い部分が柱の痕跡、その周りの色の混ざった土は柱を支えるためのもの。



参考文献 1991 「藤原宮と京」奈良国立文化財研究所
飛鳥藤原宮跡発掘調査部



★発見された土器の中には日用品が多く含まれています。郡衙には食事をつかさどる部署もあり、当時の食卓にはどんなものが並んでいたのでしょうか？

(豆知識 郡衙の役人)
郡衙の役人もさまざまな階級があります。十園遺跡出土品の中には高い位の役人の存在を示す品物も含まれています（次頁の石帶）。ただしそれはほんの一握り。多くは下級役人のようです。役人の給料も階級で大きく違います。いろいろな書物によれば、最上級の役人では年間数千万単位、最も位の低い役人では年間百万円前後。

特徴的な出土品

せきたい (石帶)

★右の写真は郡衙で働く役人が正装する時に身に付けるベルト飾りです。きれいに磨き上げられた石製の飾りを身に着けられるのは位の高い人物の証。肥前国高来郡を治める貴族のものかもしれません。当時の衣装を復元してみました。国見町でも「奈良の都」に負けないくらい華やかな生活があったのかもしれません。

紀元前10,000年 紀元前300年 250年 710年 1,192年 1,600年

旧石器

縄文

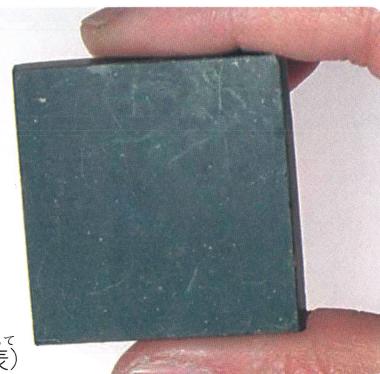
弥生

古墳

奈良・平安

中世

近世



おもて
(表)



うら
(裏)



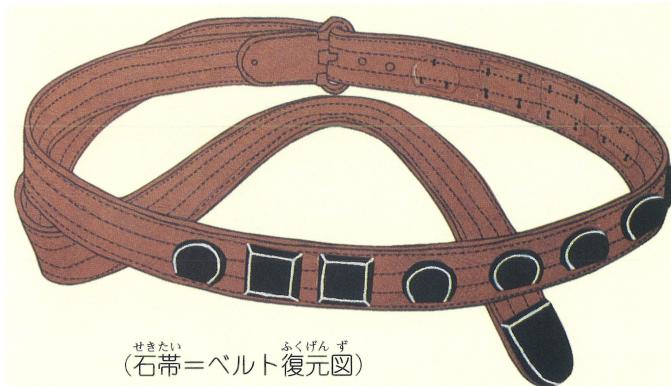
やくにん すがた
(役人の姿)

もじしりょう (文字資料)

★行政事務を取り扱う郡衙周辺では文字資料が多く見つかります。土器や木簡に書かれたものなどです。
十園遺跡の周辺でも土器に書かれた文字がたくさん見つかっています。



いしはらいせきしゅつどみや
(石原遺跡出土「宮」)



せきたい ふくげんざ
(石帶=ベルト復元図)

かずおお とき (数多くの土器)

★郡衙には多くの人々が集まります。当然日用品などの生活用具なども大量に必要になります。

右の写真は遺跡から発見された土器です。長崎県ではこの時代の土器を焼いた窯が発見されていません。出土品を観察すると熊本から海を越えてもたらされたものも多くありました。



じゅうぞの いせきしゅつど
(十園遺跡出土 奈良時代土器)

た い せ き その他の遺跡

紀元前10,000年 紀元前300年 250年 710年 1,192年 1,600年

旧石器

縄文

弥生

古墳

奈良・平安

中世

近世

くにみちょう じゅうぞのいせき

きちょう いせき

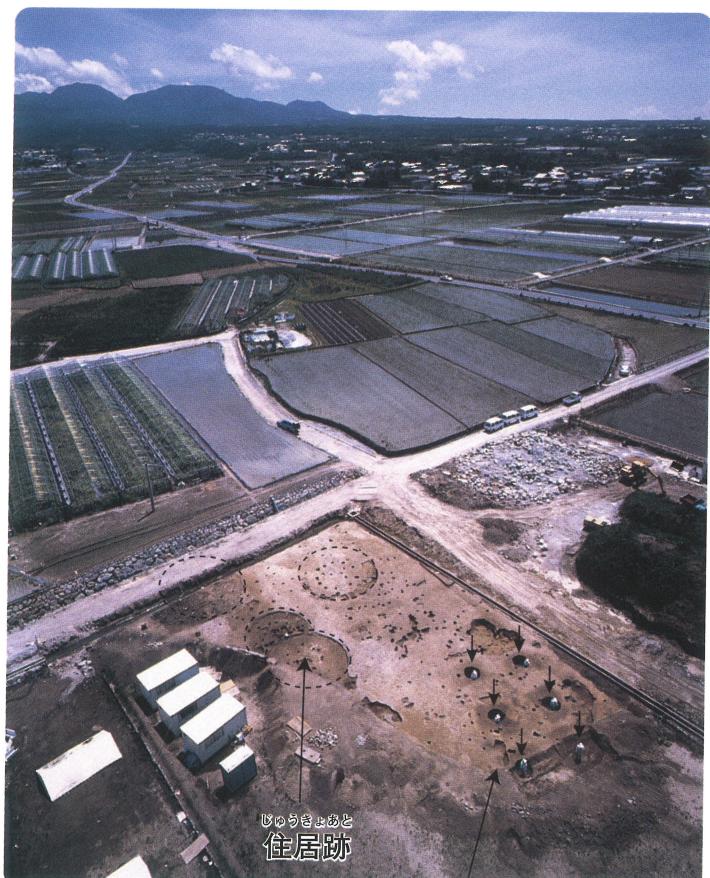
★国見町には十園遺跡のほかにも貴重な遺跡がたくさんあります。

ここではその一部を紹介したいと思います。

つくだいせき (佃遺跡)

こうじろひがしきと うんぜんのうきょうほんてんみなみがわ すいでんち
★神代東里(雲仙農協本店南側)の水田地
たいひろいせきへいせいねんはっけん
帯に広がる遺跡です。平成5年に発見され,
ほじょうせいびじょくはっくつちょうさおこな
圃場整備事業にともなって発掘調査を行
ました。その結果約2千年前の弥生時代の環
ごうしゅうらくはっけんけんないさいだい
濠集落が発見されています。県内でも最大の
たてあじゅうきよじゅうほりかんごうはっけん
竪穴住居や2重の堀(環濠)などが発見され
ています。

みぎしゃしんじゅうきょあとともはっけんたてものあと
右の写真は住居跡と共に発見された建物跡
はしらこんせきやじるしぶぶんひとなかはい
の柱の痕跡(矢印部分)です。人が中に入っ
ているのが見えますか。調査の結果、柱の
おおちうけいやくはしらたたほ
大きさは直径約50cm、柱を建てるために掘
られた穴は直径1.3mもあります。弥生時代
たてものあとけんないさいだい
の建物跡としては県内では最大のものです。



べゆうきょあと
住居跡

つくだいせき
(佃遺跡 大型掘建柱建物)

りゅうおういせき (龍王遺跡)

くにみちゅうがっこにしがわすいでんちたいひろ
★国見中学校西側の水田地帯に広がる、旧
せつきじだいこふんじだいいせき
石器時代～古墳時代までの遺跡です。
ひだりしゃしんさくねんはっけんせんぼうこうえんふん
左の写真は昨年発見された前方後円墳で、
しまばらはんとうあづまもりやまおおつかこふんつ
島原半島では吾妻の守山大塚古墳に次いで2
ばんめはっけんてつきまがたま
番目の発見となりました。鉄器や勾玉などと
ともおおどきはっけんけんりょく
共に多くの土器が発見されています。権力と
ざいりょくそなごうぞくはか
財力を備えた豪族のお墓です。



こふんしゃくど
土器

りゅうおういせき
こふんじょうくうしゃしん
(龍王遺跡 古墳上空写真)

国見町遺跡地図



■神代鍋島家長門と石碑
地図中3番は、佐賀藩神代領々主鍋島氏の陣屋跡で、鍋亀城二の丸の東側斜面に接して建てられています。写真の長屋門は元禄時代(1688~1704)に建立されたと言われ、門前には高さ2m程の切石積みの築地形の塀が2列になって約30mほど連なっています。平成5年2月10日に町の有形文化財として指定されています。

瑞穗町



■長榮寺のヒイラギ
地図中51番のヒイラギは、平成7年4月10日の岡山県自然愛護協会の調査結果によると、根元周囲3.83m、樹高7.50m、推定年齢400年で、全国第4位のヒイラギの巨樹であります。近年やや弱りかけているように見えますが、樹木の健康状態は問題ないそうです。本木は雄株で、昭和24年5月20日に天然記念物として県の指定を受けています。



■百花台遺跡の出土遺物 (長崎県教育委員会所蔵)

地図中39~44番の百花台遺跡群は、3万年前(旧石器時代の終りごろ)~縄文・弥生時代にかけての遺跡として全国的に知られており、長崎県教育委員会や同志社大学などにより発掘調査が行われました。写真は42番百花台D遺跡から出土したもので、旧石器時代の生活・狩猟用の石器と縄文時代の装身具類です。遺跡周辺では、このような石器類や土器片などまだまだ多く地表から見つけることが出来ます。

千々石町

国見町発掘調査速報 (第3号) 2005.03

十園遺跡の発掘調査2

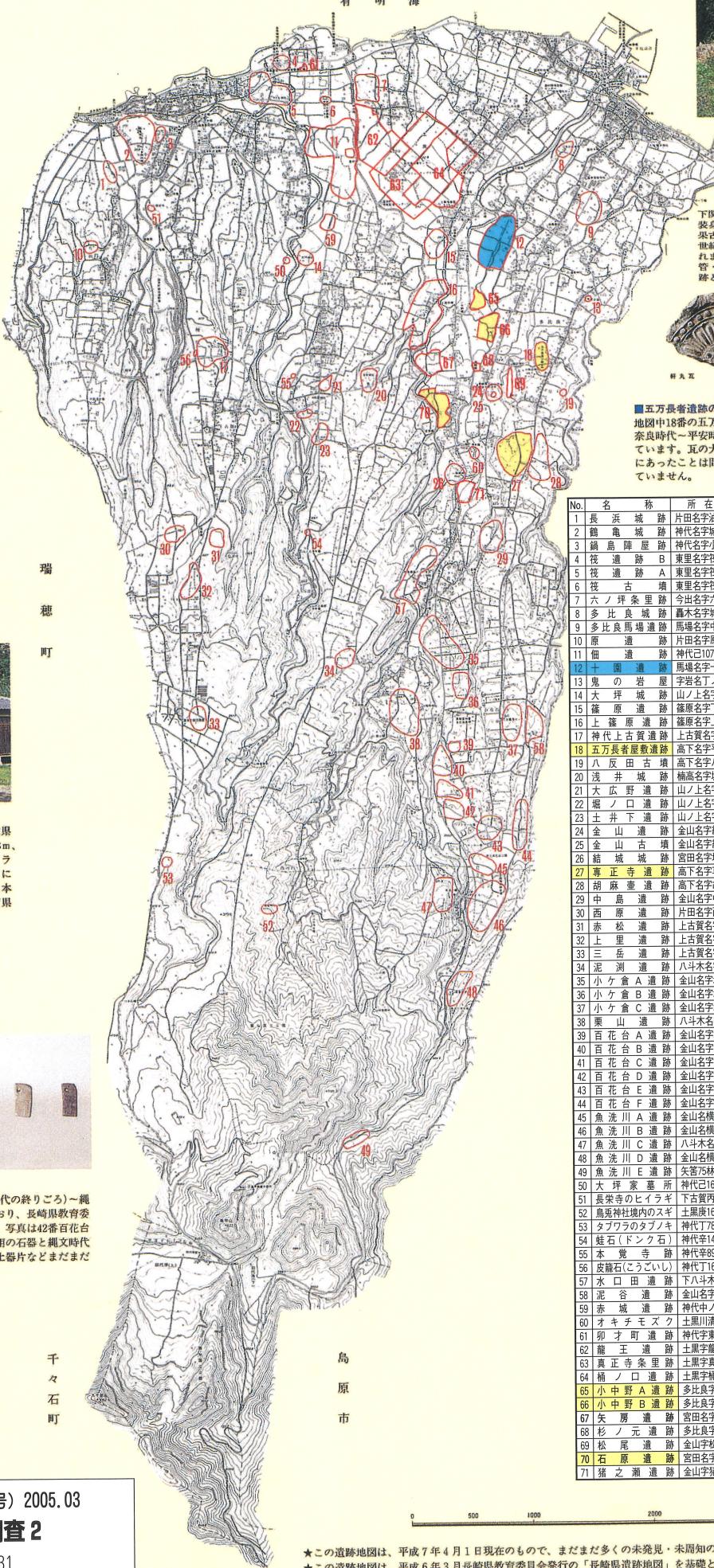
発行日 2005.03.31

発行／国見町教育委員会

長崎県南高来郡国見町土黒甲1079

TEL 0957-78-1100

印刷／(株)昭和堂



■鬼の岩屋
地図中13番の高下古墳は通称「鬼の岩屋」と呼ばれています。封土は削り取られてしまって遺構は現れません。石室内部には蛇朱のあとが残っています。
この古墳は昭和35年に当時九州大学考古博物館長により発掘調査が行われ、石室古墳が作られた時期は6世紀中ごろで、その後6世紀末まで数回にわたって追跡が行われたと考えられます。出土した遺物は国見高校考古学研究部に保管・展示してあります。なお、昭和34年1月13日史跡として県の指定を受けています。



軒丸瓦

五万長者遺跡の瓦

地図中18番の五万長者屋敷遺跡から発見された軒丸瓦と軒平瓦で、奈良時代~平安時代ごろの寺院跡または政庁跡のものだと言われています。瓦の大きさや形から、かなり大きな建造物がこの辺りにあったことは間違いないようですが、詳しい内容はまだ判明していません。

No.	名	所 在 地	種 別	立 地	時 代	備 考
1	長 浜 城 遺 跡	片田名字油手	城 路	丘陵	中世	
2	鶴 龜 城 遺 跡	神代名字坂上	城 路	丘陵	中世	
3	鍋 島 隆 屋 鮫	神代名字小路	障 屋 鮫	平野	近世	町指定有形文化財
4	筏 遺 跡	B 東里名字筏	遺物包含地	平野	縄文~中世	
5	筏 遺 跡	A 東里名字筏	遺物包含地	平野	縄文~中世	
6	筏 古 遺 跡	東里名字筏	古 墓	填 平地	古墳	
7	六 ノ 坪 条 里 遺 跡	今出名字六ノ坪	条 里 道 横	平野	奈良	
8	多 比 良 城 遺 跡	轟木名字城の元	城 遊	丘陵	平安~中世	
9	多 比 良 馬 場 遺 跡	馬場名字田町	遺物包含地	平野	弥生	
10	原 遺 跡	片田名字原	遺物包含地	丘陵	中世	
11	佃 遺 跡	神代己1075~1077	遺物包含地	平野	弥生	
12	十 園 遺 跡	馬場名字十園	遺物包含地	平野	弥生~中世	
13	鬼 の 岩 屋	字岩名丁了351	古 墓	填 台地	古墳	県指定史跡
14	大 坪 遺 跡	山ノ上名字中垣	城 遊	平野	中世	
15	篠 原 遺 跡	篠原名字子篠原	遺物包含地	平野	弥生~古墳	
16	上 筏 原 遺 跡	篠原名字上篠原	遺物包含地	平野	弥生~古墳	
17	神 代 上 古 賀 遺 跡	上古賀名字石籠石	遺物包含地	丘陵	中世	
18	五 万 長 者 家 庭 敷 遺 跡	高下名字野山	遺物包含地	台地	奈良	
19	八 反 土 田 遺 跡	高下名字八反田	古 墓	填 古墳	古墳	町指定史跡
20	浅 井 城 遺 跡	浦原名字久保	遺物包含地	丘陵	中世	
21	大 野 城 遺 跡	山ノ上名字大広野	遺物包含地	丘陵	縄文	
22	堀 ノ 口 遺 跡	山ノ上名字ノ口	遺物包含地	丘陵	縄文	
23	土 井 下 道 遺 跡	山ノ上名字下井下	遺物包含地	台地	弥生	
24	金 山 道 遺 跡	金山名字猪兒塚	古 墓	填 古墳	古墳	町指定史跡
25	金 山 古 墓	金山名字猪兒塚	城 遊	丘陵	中世	
26	結 城 遺 跡	宮田名字城本	城 遊	丘陵	縄文	
27	專 正 寺 遺 跡	高吉名字專寺	遺物包含地	台地	弥生~彌生	
28	胡 麻 壱 遺 跡	高吉名字胡麻壺	遺物包含地	丘陵	縄文	
29	中 鳥 遺 跡	金子名字中鳥	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
30	西 原 遺 跡	片田名字西原	遺物包含地	丘陵	中世	
31	赤 松 遺 跡	上古名字赤松	遺物包含地	丘陵	弥生	
32	上 里 遺 跡	上古名字赤松	遺物包含地	丘陵	中世	
33	三 岳 遺 跡	上古名字三岳	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
34	泥 潟 遺 跡	八木名字泥濘	遺物包含地	台地	先土器	
35	小 ケ 舟 A 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
36	小 ケ 舟 B 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
37	小 ケ 舟 C 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
38	栗 山 遺 跡	八木名字葉山	遺物包含地	台地	縄文	
39	百 花 台 A 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
40	百 花 台 B 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
41	百 花 台 C 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
42	百 花 台 D 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
43	百 花 台 E 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
44	百 花 台 F 遺 跡	金山名字堀廻	遺物包含地	台地	先土器~縄文	
45	魚 游 川 A 遺 跡	金山名字横道上	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
46	魚 游 川 B 遺 跡	金山名字横道上	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
47	魚 游 川 C 遺 跡	八木名字上原	遺物包含地	丘陵	先土器	
48	魚 游 川 D 遺 跡	金山名字横道上	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
49	魚 游 川 E 遺 跡	矢筈苦林3-31	遺物包含地	丘陵	先土器~縄文	
50	大 坪 家 墓 所	神代己1684	墓 所			町指定史跡
51	長 榮 寺 の ヒ イ ラ ギ	下古賀字548				県指定天然記念物
52	兎 兎 神 境 内 の ス ギ	土黒宇1859				町指定天然記念物
53	タ ブ ラ ラ の タ ブ ノ キ	神代丁783				町指定天然記念物
54	蛙 石 (ドンク石)	神代己1409				町指定有形文化財
55	本 覚 寺 路	神代辛595				町指定史跡
56	皮 爪 石 (こうじい)	神代丁167				町指定史跡
57	水 口 通 道	下八斗木	包 含 地	丘陵	縄文	H.5新規発見道路
58	泥 谷 道 遺 跡	金山名字泥谷	包 含 地	丘陵	縄文	H.5新規発見道路
59	赤 城 遺 跡	神代己ノ坪	集落城館跡	台地	奈良	H.5新規発見道路
60	オ キ チ モ ズ ク	土黒宇清水渡				国指定天然記念物
61	卯 才 町 遺 跡	神代己重里	遺物包含地	平野	先土器~縄文	
62	龍 王 通 道	土黒宇龍王	遺物包含地	平野	先土器~平安	
63	真 正 寺 条 里 遺 跡	土黒宇真正寺	遺物包含地	平野	奈良~平安	
64	ノ 口 通 道	土黒宇ノ口ノ	遺物包含地	平野	先土器~平安	
65	小 中 野 A 遺 跡	多比良字小中野	遺物包含地	丘陵	弥生~平安	
66	小 中 野 B 遺 跡	多比良字小中野	遺物包含地	丘陵	弥生~平安	
67	失 房 遺 跡	宮田名字失房	遺物包含地	丘陵	先土器~中世	
68	杉 木 遺 跡	多比良字杉之元	遺物包含地	丘陵	縄文~中世	
69	松 尾 遺 跡	金山宇松尾	遺物包含地	丘陵	先土器~平安	
70	石 原 遺 跡	宮田名字石原	遺物包含地	丘陵	先土器~平安	
71	猪 之 満 遺 跡	金山宇猪ノ満	遺物包含地	丘陵	縄文~中世	

★この遺跡地図は、平成7年4月1日現在のもので、まだ多くの未発見・未判明の遺跡が存在しています。

★この遺跡地図は、平成6年3月長崎県教育委員会発行の「長崎県遺跡地図」を基礎として、その後発見された遺跡および町内の文化財等を付け加え、国見町教育委員会が作成したものです。

★遺跡の範囲は図上に赤で示しましたが、およそその範囲を示すもので、線上やその周辺も遺跡と考えられる場合もあります。また、図上に赤で示していない地域でも、外的な判断や伝説・口伝等によってその地域において文化財を包蔵する土地として広く認められる土地についても遺跡として取り扱われます。

★この遺跡地図について詳しいことは、国見町教育委員会までお問い合わせください。